

第 10 次伊達市交通安全計画の概要

第 1 節 計画の位置づけ・期間等

- ・北海道交通安全計画に基づき伊達市交通安全計画を策定
- ・交通事故のない社会を目指して、交通安全対策全般にわたる総合的な施策の大綱を定め、あらゆる施策を積極的に推進していく
- ・計画期間は平成 28 年度～平成 32 年度までの 5 年間

1 計画の基本理念

- ・ 交通事故のない社会を目指して
- ・ 人優先の交通安全思想

2 計画の推進

- (1) 交通社会を構成する三要素
- (2) 救助・救急活動の充実及び被害者支援の充実
- (3) 参加・協働型の交通安全活動の推進
- (4) 効果的・効率的な対策の実施

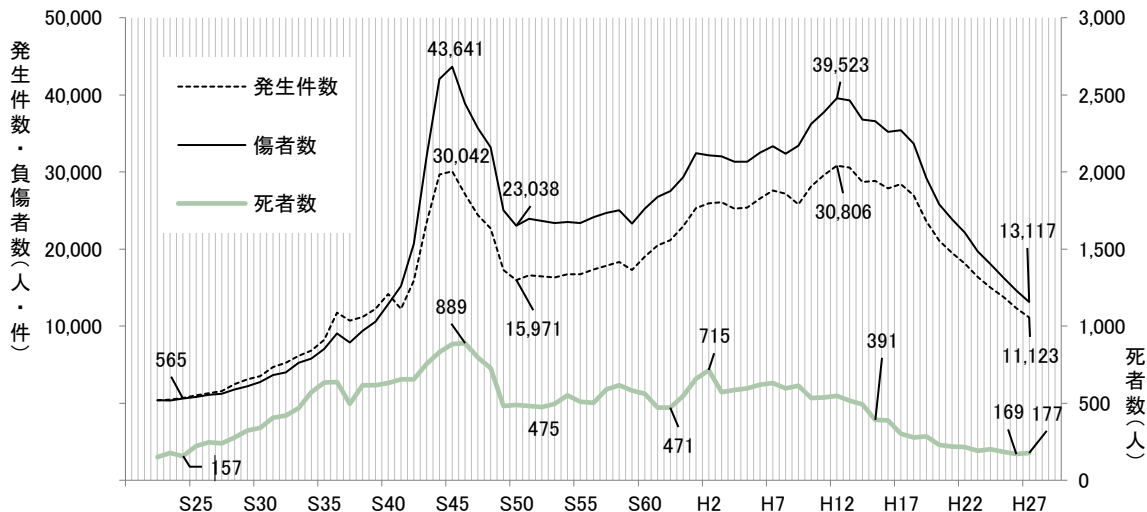
第 2 節 交通事故等の現状等

1 道路交通事故の現状と今後の見通し

(1) 北海道の交通事故の現状

道路交通事故における交通事故発生件数、死者数及び負傷者数

(北海道交通安全計画より抜すい)



注 1 昭和 34 年までは、軽微な被害（8 日未満の負傷、2 万円以下の物件）事故は含まない。

注 2 昭和 40 年までの発生件数には、物件事故件数も含まれる。

- ①65 歳以上の高齢者の死者数が高水準で推移
- ②16 歳から 24 歳までの若者の死者数が大きく減少
- ③交通事故の死者数は 10 年連続で減少してはいるが、近年は頭打ち
(頭打ちの原因：高齢者人口の増加、飲酒運転による交通事故が減らない)

(2) 伊達市の交通事故の現状

伊達市内での交通事故発生状況

年	事故発生件数				負傷者数		
	死亡	重傷	軽傷	計	重傷者	軽傷者	計
平成 23 年(2011 年)	1	9	71	81	9	106	115
平成 24 年(2012 年)	3	15	81	99	17	99	116
平成 25 年(2013 年)	0	9	65	74	9	92	101
平成 26 年(2014 年)	1	8	59	68	8	74	82
平成 27 年(2015 年)	2	18	62	82	19	85	104

① 近年の伊達市内での交通事故発生割合は北海道の割合とほぼ同様

2 鉄道及び踏切事故の現状

- ① 鉄道事故は近年ほぼ横ばいの傾向
- ② 踏切事故は長期的には減少傾向

第3節 交通の安全についての目標

【数値目標】 平成32年までの5年間、24時間交通事故死者数ゼロとする。

第4節 施策の柱と重点課題

〈重点課題〉

- 1 生活道路における安全確保（地域事情に応じた道路交通環境等の整備）
- 2 高齢化社会を踏まえた総合的な対策
- 3 冬季に係る陸上交通の安全
- 4 飲酒運転の根絶（実現のための社会環境づくり）
- 5 スピードダウン（市民の交通安全意識の高揚）
- 6 シートベルトの全席着用
- 7 自転車の安全利用（ルール、マナーに関する教育の実施）
- 8 鉄道・踏切道における安全対策

〈施策の柱〉

